

AKIRA TORIYAMA EXHIBITION

©バードスタジオ



鳥山明の世界

1994年 8月5日金 — 9月4日日

休館日=月曜日 開館時間=午前9時—午後5時(入室は午後4時30分まで)
/初日は午前10時開展/毎週金曜日は午後7時まで開館
(入室は午後6時30分まで) 主催=高松市美術館/読売新聞大阪本社
/西日本放送株/美術館連絡協議会 特別協賛=株集英社 協賛=花王株
特別協力=松下電器産業株 協力=株エニックス/東映動画株
/株バンダイ/株フジテレビジョン

高松市美術館

鳥山明の世界

昭和22年に発表された手塚治虫の「新宝島」をひとつのエポックとして、今日にいたる現代漫画の流れは、その表現の幅を限りなく広げ、子供から大人までが親しむメディアに成長しました。一年間に出版される全書籍の約3分の1を占める膨大な発行部数、また、アニメーション、テレビゲームソフトという他メディアと関連する現在の漫画の姿を見ると、もはやサブカルチャーとはいえない程大きな影響力をもつものに成長しています。

鳥山明は、このような日本の現在の漫画界を象徴する代表的作家です。1978年、週刊少年ジャンプでデビューした鳥山明は、「Dr.スランプ」「DRAGON BALL」などの優れた人気作品を発表し続けており、〈鳥山スタイル〉ともいべき独自のスタイルを生み出し、漫画表現の広がり大きな可能性を示しています。

本展覧会では、原画約400点を中心に、最新テクノロジーを駆使し制作された「DRAGON BALL」のオリジナル映像、膨大なキャラクター商品群、海外出版物なども合わせて展示し、鳥山明の全貌を探ると同時に、現代社会における漫画の位置を明らかにしようとするものです。



AKIRA TORIYAMA
EXHIBITION

■記念講演会

「美術としての漫画」

講師／布施英利(批評作家、美術評論家)

8月7日(日)午後1時30分より

高松市美術館1階講堂にて

入場無料 先着200名様

■催し物のお知らせ

藤浩志のインсталレーション+サウンド・コラージュ・パフォーマンス

・インсталレーション 8月5日(金)～8月28日(日)

・サウンド・コラージュ・パフォーマンス 8月20日(出)

・ワークショップ 8月21日(日)

日本のアニメーション1946～1962 8月12日(金)・13日(出)

■展覧会のお知らせ

第25回日展 9月10日(出)～10月2日(日)

第3期常設展 7月16日(出)～9月4日(日)

・展示室1 「彫刻になったやきもの(陶彫)」

・展示室2 「伝統の讃岐漆芸—蒔器、存清、彫漆」



「鳥山明の世界」入場料＝一般700円／高大生400円／小中生200円
(一般前売りおよび団体20名様以上は2割引)

お問い合わせ＝高松市美術館

〒760 高松市紺屋町10-4 TEL.0878-23-1711